



新自由主義のもとで  
増大する官僚主義

## 官僚制のユートピア

テクノロジー、  
構造的愚かさ、  
リベラリズムの鉄則

デヴィッド・グレーバー 著  
酒井隆史 訳

2017年12月発行／四六判／  
388頁／3,500円／以文社

かつては盛んに議論され、今日ほとんど議論的にならなくなった「官僚制」という問題が本書の主題である。グレーバーによれば、官僚制についての議論は70年代をピークに減少し続けてきたが、現実社会における官僚制は姿を消したどころか、私たちの日常生活により深く根をおろし、官僚制に対する関心の低下と反比例するように官僚制は増大し続けてきた。新自由主義は「規制緩和」の名の下に新たな規則や規制を創出し、いまや官僚制はわたしたちにとって空気のようなものになった。本書では、この空気のような現代の官僚制を多角的に取り上げなおし、左派的批判の再構築を試みる。

{POSSE} Vol.38 2018.4月号 ブックレビュー